

フリーランス・ジャーナリストの方からのご質問

3月28日にアコーディア・ゴルフと、同社株主総会の重要議案への賛成や自己株式公開買付けに関する合意を記載した書面を取り交わした後もAG株の買い増しを行った理由を教えてください。

(回答) 株価が割安だと考え、買い増しを行いました。

経済誌の記者の方からのご質問

- ① 御社は今回のアコーディア臨時株主総会招集請求について、現経営陣が御社の掲げた株主還元と同等の株主還元を実現する決意を公表するなどした場合には、請求を撤回するとしています。現時点で御社が求めている株主還元策とは、「配当性向 90%」あるいは「総株主還元性向 90%」ではなく、「今後、2年でゴルフ資産 400 億円以上の追加アセットライトを行い、200 億円以上の株主還元を行う」ことに絞り込まれているのでしょうか。

(回答) その通りです。弊社らが掲げる「今後、2年でゴルフ資産 400 億円以上の追加アセットライトを行い、200 億円以上の株主還元を行う」ことと同程度の株主還元を実現することに絞っています。

- ② 今回アセットライト化されなかった 44 コースには、権利関係が複雑なものや、買収から日が浅かったりマルチブランド化の途上だったりして収益化が不十分なものが含まれているとアコーディア側は説明しています。この 44 コースのほとんどをアセットライト化しないと「2年で 400 億円以上」は難しそうですが、収益化が多少不十分でも、アセットライト化を優先すべきとお考えでしょうか。

(回答) いいえ。収益化が不十分なもので、今後収益の改善が見込めるゴルフ場についてはバリューアップ後にアセットライト化をすべきと考えています。「2年間で 400 億円以上」という数字については、アコーディアの 1000 億円以上のゴルフ場資産を考えると、このようなバリューアップ前のコースを除いても十分に達成できるレベルであると考えています。

- ③ アコーディア経営陣は、上場企業としての成長を続けていくために、今回のアセットライト対象にならなかった 44 コースについても、収益力アップがなされたら順次売却していき、その売却資金の一部を元手に新たなコースを買収し、収益力アップを図ってからまた売却する……という「循環型ビジネス」を標榜しています。このビジネスモデルについて、御社の立場からはどのように評価していますか。

(回答) 循環型ビジネスについては、アコーディアの成長戦略として必要なものだと考え、賛成です。ただし、そこから期待される投資収益については株主が期待するリターンと同等かそれ以上である必要があります。

新聞社の記者の方からのご質問

- ① 解任を求められている6名、それぞれについて、どのような点が社外取締役の役割を果たせていないと判断されたのか教えてください。

(回答) PGMホールディングス株式会社から敵対的TOBを仕掛けられた当時は配当性向90%と提案しておきながら、これを今回45%に半減させる意向を示していること、また、ビジネストラスト上場後の中期経営計画において追加のアセットライトが小規模であり、株主価値最大化という観点から、社外取締役に期待されたコンプライアンスやガバナンスの体制強化という役割が果たされていないと判断したためです(新任の社外取締役もいますが、事実上、従前の取締役会の方針を追認している点において同様と考えます)。

- ② 解任を求めなかった社内の取締役について、解任を求められた社外取締役との違いについて教えてください。

(回答) 社内取締役の4名はアコーディアの事業運営に深く関与しており、継続していただくことが適切であると考えたためです。

- ③ 選任を求められている5名の方の過去の経歴(一般的な有報に記載する程度)を教えてください。

(回答) 選任の候補者5名の経歴については追ってアコーディアから出される臨時株主総会招集通知書に記載される事項であり、そちらでご確認いただくようお願い申し上げます。

以上